

所蔵資料 出し

特別区自治情報・交流センターで所蔵する
東京23区に関する古い資料を蔵出ししてご紹介します。

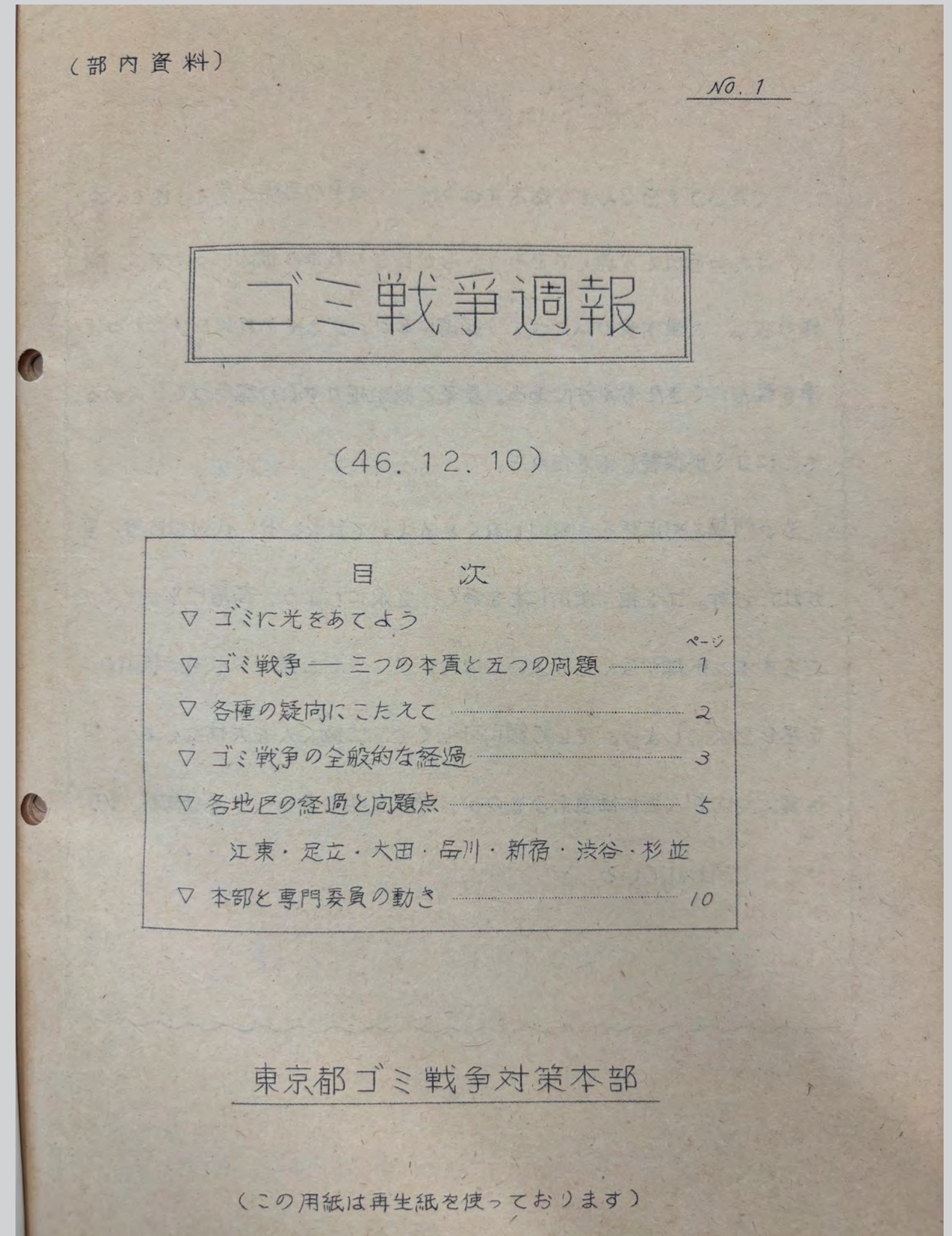
「ごみ戦争」とは

ごみ戦争とは、1971(昭和46)年頃に、ごみ公害被害に悩む江東区で起きたごみ投棄反対運動をきっかけとした、23区におけるごみ処理問題のことです。当時、23区の清掃事業は東京都が担っていました。都知事がこの問題に危機感を持ち、都議会で「ごみ戦争」を宣言したことを受けて、都庁内に設置されたのが、発行元の「東京都ゴミ戦争対策本部」です。

ゴミ戦争週報

1971(昭和46)年発行

特別区におけるごみ処理問題に対応するために設置された「東京都ゴミ戦争対策本部」が週報として刊行した資料です。



“ゴミゴンをやっつける”

「週報No.20」には、東京都清掃局職員と渋谷区の児童会館職員が有志で行った子ども向けの寸劇“ゴミゴンをやっつける”の内容が記載されています。この寸劇では、ごみの不法投棄によって生まれたモンスターのゴミゴンを倒すというストーリーを通じて、子どもたちにごみの適切な処理の重要性を呼びかけています。

「ごみ戦争」のその後

この問題の背景には、高度経済成長による大量生産・大量消費社会への変化や、他区での清掃工場の建設が思うように進まなかったこと等があり、行政と住民が協力して状況の改善をする必要がありました。ごみ戦争という問題を経たことで、清掃事業を推進することの大切さが住民に浸透し、清掃事業に対する意識も大きく変わったと言われています。

★これらの古い資料は実際に手にとって閲覧いただけます。

興味のある方はお気軽に4階センターのカウンターまでお声がけください。

